

市民主体の地域発展指標の開発と活用 ～日米における地方自治体レベルの幸せなまちづくりの取り組み～

日時 2014年12月16日(火)
15:00～17:00

会場 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室
【グランフロント大阪 北館7階ナレッジキャピタル タワーC713】

グローバル化の進展は私たちの生活に大きな変化をもたらし、生活基盤を支える地域社会のあり方が問い直されつつあります。そして、一人でも多くの市民が人間らしい生活をおくり、幸せな生き方を目指すことのできる地域社会実現への関心が徐々に高まってきています。実は、このような関心は、日本のみならず、多くの先進国で広がりつつあるものです。そこで、今回、市民の主体性を重視する地方自治体レベルの事例に焦点をあて、アメリカの人間開発指標を活用した地域社会改善の取り組みと日本の住民と行政の協働による地域発展指標構築の取り組みを紹介することで、これからの市民自治や地域社会のあり方について考えていくための講座を開催します。

◆ 講演 I

ーカリフォルニア州ソノマ郡などの事例を中心に紹介ー

講師: Mr. Patrick Guyer

(米国社会科学院 Measure of Americaプログラム主席統計官)

◆ 講演 II

ー愛知県長久手市などの事例を中心に紹介ー

講師: 草郷孝好 (関西大学 社会学部・教授, AR研究班主幹)

◆ 司会

豊田尚吾 (大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL) 研究員)

◆ 挨拶

高瀬武典 (関西大学 経済・政治研究所長)



Mr. Patrick Guyer
Chief Statistician,
Measure of America,
SSRC, USA

米国社会科学院 アメリカの社会
発展測定プログラム(Measure of
America)主席統計官同プログラムに
おける統計指標の構築、データ分析を
担当し、国レベル、州レベル、郡レ
ベルの諸レポート作成に携わる。また、
アメリカ・ブルックリン大学講師、国連
事務局経済社会局や国連ユニセフの
コンサルタントでもある。

聴講無料・参加申込要

※ 講演 I : 英語 (逐次通訳有)

主催: 関西大学 経済・政治研究所

共催: 関西大学 社会的信頼システム創生センター(STEP)

共催: 大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所(CEL)

後援: 関西大学 経済・政治研究所 市民自治力向上とアクション・リサーチ研究班(AR研究班)



関西大学

【お申込先】

関西大学社会的信頼システム創生センター事務室

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

Email: step@ml.kandai.jp TEL: 06-6368-1845

